

令和5年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野市立文化会館

指定管理者名：公益財団法人 河内長野市文化振興財団

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	S	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	S	S
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	S
危機管理	労働諸法を遵守しているか。	S	S
	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
個人情報	利用者の安全は確保されているか。	A	A
	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
財務状況	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	S	S
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	S	S
その他	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	S	S
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A	

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	50,000,000	46,023,440	3,976,560	41,658,840	
	自主事業収入	57,872,000	55,875,269	1,996,731	35,848,247	
	物品販売収入	345,000	428,100	-83,100	457,800	
	手数料収入	7,936,000	9,210,152	-1,274,152	2,155,549	
	指定管理料	207,104,000	201,582,305	5,521,695	210,304,394	
	その他収入	3,931,000	9,570,539	-5,639,539	13,030,133	
	収入総額	327,188,000	322,689,805	4,498,195	303,454,963	
支出	人件費	95,972,000	90,598,891	5,373,109	94,308,597	
	事務費	1,951,000	2,221,086	-270,086	1,959,959	
	管理費	99,262,000	97,816,881	1,445,119	109,454,682	
	自主事業経費	104,660,000	101,410,650	3,249,350	85,652,262	
	光熱水費	25,769,000	24,980,635	788,365	32,209,320	
	リース料	248,000	319,440	-71,440	246,840	
	その他	713,000	281,500	431,500	80,000	
	支出総額	328,575,000	317,629,083	10,945,917	323,911,660	
収支差額	-1,387,000	5,060,722	-6,447,722	-20,456,697		

3. 総合評価

自己評価
<p>文化振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事に伴う3ヶ月間の臨時休館を経て新たなスタートの年でした。開館をお待ちいただいていた市民の皆様には様々な文化芸術に触れる機会、参加する機会を提供いたしました。 ・ラプリーホール・オリジナル・ミュージカルvol.12「夢見の王国2023」を、8月6日に2回公演で実施しました。本作品は2015年に初演したオリジナル脚本・オリジナル楽曲のミュージカル「夢見の王国」のブラッシュアップ作品。サキタハチメ氏にエンディング曲「ココカラはじまる」ほか数曲を新たに書き下ろしていただき、ミュージカルスクール生約50名の子ども達が、精一杯のパフォーマンスを行いました。ミュージカルスクール生の頑張りに、704名の入場者からも高い評価をいただきました。 ・河内長野から全国に向け芸術作品の創造発信を行う「奥河内音絵巻」シリーズ第9弾は、サキタハチメ氏を芸術監督にお迎えし、河内長野と世界の様々な音との出会いを創出。森の小さな息吹や、虫や菌の小さな命が奏でる響きと生演奏を融合させ、新たなサウンドが生まれる瞬間を音と映像でお楽しみいただきました。また、島田市長をはじめ「ミュージカルスクール」や「のこぎり音楽教室」等の市民メンバーも加わり総勢約70名の出演者による、誰もが楽しめるエンターテインメントショーを9月10日に2回公演で実施しました。 ・創造発信型事業として制作している「ミュージカル」事業や「奥河内音絵巻」事業は、その内容が高く評価され、日本芸術文化振興会をはじめ様々な団体から合計700万円の補助金・助成金を獲得することができました。 ・市民との協働により芸術文化を創造する事業として制作している市民参画型事業「河内長野ラプリーホール合唱団演奏会」を7月9日に実施しました。市民を中心に地域の合唱愛好家約100名が、本番に向け約10ヶ月の長期間にわたり、ラプリーホールで練習を行い本番を迎えました。演目はベートヴェン作曲の「ミサ・ソレムニス」で、コロナ禍の中、数年間合唱公演はマスクを着用して歌ってきましたが、今回の公演からマスク無しで歌っていただくことができました。 <p>施設管理及び貸館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に実施されたエスコ事業の残工事及び不具合手直し工事が1年を通し行われましたが、工事業者との調整と不具合か所の発見に務め、お客様の利用への影響を最小限にとどめることができました。 ・本年度より、毎週月曜日休館日を開始しました。事前の情報発信に努めたことで、混乱やお客様からの苦情は見受けられませんでした。 ・施設利用率及び利用料収入については、新型コロナウイルス感染対策に係る規制が撤廃されたことを受け、増加傾向ではあるもののコロナ禍以前の水準には達していません。ご利用後のお客様アンケートなどを参考に、新たなサービスの提供について議論を重ねているところです。 ・利用者アンケートの集計結果では、例年より高い評価をいただくことができました。「利用料金」以外の全項目で、「非常に良い」、「良い」を合わせた良評価が、90%を超えました。「舞台技術スタッフの対応」では100%の高評価を得ました。 <p>法人運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公認会計士と指導契約を結び、2か月に1度程度帳簿検査と指導を受け適正な経理業務の執行に努めました。 ・社会保険労務士と顧問契約を結び、労働諸法の適正な遵守に努めました。 ・弁護士との顧問契約を結び、業務実施及び財団運営について各種法令の適正な遵守に努めました。 ・理事会及び評議員会並びに全役員が参加対象の意見交換会を開催し、法人事業運営の方向性等の確認を行いました。 ・公益法人として、財団事務所及びホームページ等で財団情報の公開に努めました。
市評価
<p>文化振興事業</p> <p>改修工事による休館を経て、河内長野の優れた舞台芸術作品を創造し発信する創造発信型事業である「ラプリーホール・オリジナル・ミュージカル」や「奥河内音絵巻」などをはじめとし、80を超える様々な事業を実施したことを高く評価しています。事業の中でも、アーティストの派遣を通じて芸術文化に触れる機会を創出するアウトリーチ事業では、学校関係の他、福祉施設への派遣を行い、より多くの世代が芸術文化に触れる機会を得られたことは大変意義深いです。また、文化振興事業の実施にあたり、大阪府や各種補助金を獲得し、内容充実にも努めていることも高く評価しています。</p> <p>施設管理及び貸館事業</p> <p>施設の経年劣化による事故防止のため適切に修繕をおこなっており、空調機器やその他の設備などに不具合が生じた際には、利用者のことを第一に考え快適な環境で利用していただけるよう努めていただいたことにご大変感謝いたします。また、施設が長期間維持できるよう取り組む姿勢を高く評価します。施設利用率及び利用料収入についてはコロナ禍以前の水準とは行かずとも、増加傾向にあり、減収であった近年に対し、本年度は増収となりました。今後も施設利用者へ寄り添った、施設管理及び貸館事業への取り組みを進めていただくようお願いいたします。</p> <p>法人運営</p> <p>公認会計士と指導契約、また、社会保険労務士、弁護士と顧問契約を締結し、適正な法人運営に努めている点を評価します。</p>